

杉の魅力を発信して行った先に描く未来像とは

千葉県 伯光刃物製作所 目次 伯光

杉を超美しく仕上げることができる新型鉋「クロムコーティング鉋」を道具に、杉が本来持っている良さを最大限に活かす木材乾燥装置「愛工房」とのコラボを進め、杉の良さを広めて行きます。小物製作を通じて杉の持つスバラシさを大衆に知らせつつ、住まいに愛工房乾燥×クロムコーティング鉋仕上の杉を使う流れを作るという事業をやって行きます。

☆この事業によって解決する可能性のある問題と、訪れるワクワクする未来像とは…

- ・日常の目にふれる、手に触れる部分に超美しく、超手触りがよい杉製品を取り入れることによって、暮らしに精神的な豊かさをもたらす。
- ・杉の柔らかな質感と暖かさ、良い香り、精油成分による鎮静作用で、落ち着く、リラックスする、よく眠れる家（部屋）に暮らせる。
- ・杉本来の精油成分による防虫、防腐作用、抗アレルギー作用などを活かし、薬剤を使用しない無垢の杉材を建材として使用することで、今の新建材で作った家（の化学物質、防虫剤、防腐剤）に起因して増えているのかもしれないシックハウス症候群やハウスダスト等のアレルギー、発達障害（脳機能障害）などが減少若しくは解消できる可能性がある（?）。
- ・職人が人間らしい手仕事で仕事ができ、腕を磨けば正当に評価される社会になる。
- ・発達障害や、身体的な部分的な障害がある人、引きこもりがちな人たちでも、鉋一つ使いこなせるようにさえなれば、杉の小物づくりで自宅で一人でも無理なく自立生活が営めるくらいの収入が得られる仕事ができる。それができるようになると、社会との接点ができ、技能修得に自信が持てるようになり、他の技能修得にもプラスの作用を及ぼし、社会に通用する技能者への道が開かれると予想。

※現在急増中の「発達障害」の原因の一つに、新建材にも使用されているネオニコチノイド系殺虫剤による脳機能障害の可能性を指摘する議論がある→仮に、もしもそうであった場合、住宅内の、化

学物質を含む「悪い空気」を吸い続けて被害を受けた人たちにとって、毎日杉を鉋で削って、杉の精油成分を含む「良い空気」を吸いながら仕事をする事で、何らかの良い影響が出る可能性は有るのか？無いのか？もしあったら素晴らしい。ネオニコチノイドが使われた建材の家で、〈高気密・高断熱仕様でなければ建築許可が下りない〉という法律（建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律）が2025年4月より施行されたことで、未来はどうなる？今後の発達障害と診断される人の割合はどうなっていくのか？

・杉の価値が見直され、正当な価格で取引されるようになり日本の林業が再構築される。

・山の手入れが進むと、花粉症も軽減若しくは収束する可能性がある。（花粉症は、密植されたまま手入れされなくなって瀕死の杉たちからの人間に対するSOSのメッセージ？）

・山の手入れが進むと、台風などによる倒木が減り、大停電や土石流、洪水などの災害が起きにくくなる。

・山の手入れが進むと、山の土壌から豊富な栄養分が運ばれ、河川が蘇り、田も肥え、海の魚も戻って来る。

・「愛工房」が各地に設置され、乾燥中の杉と一緒に人間が入る「杉浴」が大衆化する。

※「杉浴」で癌が消えたという実例が、これまでに2人。もしも〈杉浴で癌が治ってしまう〉ということに高い再現性があるとなれば、今や2人に1人が癌で亡くなるという日本における医療と健康寿命に明るい光が差し込むことになる。

・「愛工房」に地域の人が集まり、「杉浴」をしてリラックスしながら、森羅万象を語り合う場を全国各地に作る。アメリカ合衆国建国草創期におけるベンジャミン・フランクリンの「ジャントークラブ」のような創造的な集まりを、杉浴をしながらできる拠点にする。そこから、それぞれの地域を面白くして行く知恵が生まれ、特色ある地域社会が花開いて行く。

これが、現在目次がイメージする、杉を超美しく仕上げることができる手鉋を使った仕掛けから始まる「ワクワクする未来像（長期ビジョン）」です。全ては「仮説」ですが、これらの「仮説」が現実となっていくのかどうかを研究課題としつつ、新型鉋と杉材利用の普及を目指して活動して行きます。

このビジョンを実現するために、魅力的な杉製品をどんどん開発して世に出して行くことをこの事業のミッションとします。そのとき意識することは、日本マクドナルド社や、戦後 GHQ が学校給食で行なって「成功」したことをマネします。すなわち〈子どものときに覚えた味を、その人は一生食べ続ける〉→〈子どものときに覚えた杉の気持ち良さを、その人は一生求め続ける。つまりは、行く行くは杉本来の良さを活かした「木造都市」を日本人が作って行くようになるだろう〉という仮説が長期において実現することを想定して、主に子ども、若者の日常に〈超気持ちいい杉製品〉を普及させることを中心に考えて、この事業を進めて行きます。

2025. 3. 13 目次 伯光

(2025. 5. 12 一部修正)